

やすらぎの家デイサービスセンター 令和4年度事業報告

デイサービス事業 重点目標

『利用者ひとりひとりが自分らしく生活する』

1. 利用者の確保

1日あたり平均8.9名の利用で稼働率73.7%（前年比 -5.2%）

4月末～5月初めに起きたコロナ感染症の集団発生での営業休止や、全体的に新規利用の伸びが低かったことが影響した。

介護度1～3の身体的には元気な方の利用が増え、平均介護度は1.95（前年度2.23）だった。介護度が軽くてもサポートが必要な人が多かった。

2. 事業内容の充実・サービスの質の向上

今年度タブレット端末の導入、Wi-Fi設定により、ホールでのタブレット端末使用ができることで、写真や動画を見て活動内容を広げることができた。

コロナ禍で外出が難しい中、身体を動かす楽しみをと、室内での運動会を実施した。競技だけでなく企画・運営にも参加してもらうことで、役割の発揮に繋がる行事となった。活動を通して四季折々昔を思い出して語り、家族への思いを語ってもらえる機会を持つようにした。

ヒヤリハット報告件数は17件（前年度30件）、事故報告が2件。要介護4・5の利用者が少なかったためか、転倒等も少なかった。

3. 職員の資質向上

研修を定期的に行い、各自でスキルアップに向けて、学習することを続けた。また、リモートで外部研修に参加し、他のスタッフも内容を伝えるようにした。自己学習では、個々の目標にそったテーマを取り上げ、日々のケアと照らし合わせて問題提起し、情報共有をしながらケアの質の向上を目指した。

4. 連携と情報公開

タブレット端末に通信アプリを入れ、遠方の家族とのやり取りや、家族だけでなく関係機関（ケアマネジャーや他のサービス）との情報共有にも使用した。写真や動画でやりとりができ、表情や雰囲気やタイムリーに伝えられ好評だった。

家族懇談会はコロナ禍で開催を中止した。運営推進会議は、1回目は書面会議、2回目は初めてデイサービス営業中に行った。昼間ということで、介護家族は参加しやすく、日ごろの雰囲気を見てもらう事ができて、活発な意見交換ができた。

5. 地域との交流を推進

ほほえみ会ボランティアの皆さんには、感染防止対策をしながら、活動を続けて頂いた。運営推進会議には毎回交代で参加して頂き、事業内容を詳しく知ってもらえる機会となっている。